

第4回委員会の論点

◆東京電力（福島第一原子力発電所）よりご説明いただきたい論点

● 核燃料について

【燃料デブリ】

[1～3号機]

- 燃料デブリは今、どこに、どのような状態であるのか。
（これまでの炉内状況調査から分かったこと など）
- 再臨界、燃料溶融する可能性は。
- 原子炉へ注水できなくなったり、原子炉の水が抜けたりした場合の対応策、代替手段は。
- 核燃料から新たにガス状あるいは粒子状の放射性物質が発生・放出する可能性は。
- 今後予定されている燃料デブリの取り出し作業には、主にどのようなリスクがあるのか。また、その対策は。

【使用済燃料】

[1～3号機]

- 各号機の使用済燃料プールには、今、どれくらいの核燃料があるのか。冷却状況は。
- 使用済燃料プールからの燃料取り出しにおいて、今後数年のうちに予定されている作業（建屋カバー解体やガレキ撤去など）と、その際に想定されるリスク・課題（放射性物質の飛散など）、また、その対策は。
- 使用済燃料プールで燃料の冷却を維持できなくなった場合の対応策、代替手段は。

[5・6号機、キャスク仮保管設備、共用プール]

- 核燃料は今、どこに、どれくらいあるのか。また、その冷却状況は。
- 各箇所において、燃料の冷却を維持できなくなるリスクとしてどのようなものがあるか。その場合の対応策、代替手段は。

● 建屋カバー解体について

- 現在進行中の、1号機原子炉建屋カバー解体作業の進捗状況は。
- 1～3号機の使用済燃料取り出しに向け、建屋カバーを解体する際に想定されるリスク・課題とその対策は。
（例：どの程度の不測の事態を想定して飛散防止剤散布等の対策を講じているのか。）

- 汚染水・処理水について
 - ・ 汚染水・処理水は、今、どこに、どれくらいあるのか。
 - ・ 現在、敷地内のタンクに貯蔵しており、さらに増加が見込まれる処理水について、今後どのように対応していくのか。
 - ・ 汚染水対策の進捗状況と、すでに運用されている汚染水対策（陸側遮水壁閉合など）の効果は。今後進められる作業で想定されるリスクとその対策は。
 - ・ 汚染水処理で出た使用済みフィルター等は、どこにどのくらいあるか。その管理状況、安定的に保管するための処理方針は。
 - ・ 汚染水、使用済みフィルターなどから放射性物質が環境中に流出する可能性は。また、流出した際の検知方法、対応策は。
 - ・ 構内のどこかに高濃度の放射性物質を含むたまり水などがあり、それが流出した場合（例：2号機原子炉建屋大物搬入口屋上で確認された事案（平成27年2月））に備えた対応策は。

- 廃棄物等の対策について
 - ・ 放射性物質などで汚染されているガレキなどは、今、どこに、どれくらいあるのか。どのように管理していくのか。
 - ・ 固体廃棄物等の管理計画の概要と、想定されるリスク及びその対策は。

- 防災対策・体制について
 - ・ 地震・津波対策は。
（例：建屋の耐震性確保、防潮堤設置状況、アウターライズ津波・L2津波対策など）
 - ・ その他自然災害（台風による大雨・強風、竜巻、土砂災害など）に対する対策は。
（例：台風時の強風に建屋カバーは耐えられるか、竜巻注意情報や土砂災害警戒情報が出たときの対応は、など）
 - ・ 事故等が起きたときの通報連絡体制は。
（通報連絡の基準・内容、今までの実績）
 - ・ 緊急時に備えた訓練の実施状況は。訓練を踏まえた主な改善点は。

- 最近起きたトラブル等について
 - ・ 6月28日停電・8月2日ダストモニタ高警報の連続発報に対する対応状況は。
 - ・ 送電設備（鉄塔）の点検不備の経緯、対策等は。

◆規制庁よりご説明いただきたい論点

- 福島第一原子力発電所における最近の保安検査の結果について。